



茶の湯の里へ

土岐市茶華道連盟 会長 加藤勝之先生

茶の湯の世界も「心、技、体」

一般にスポーツ界においてよく耳にしてきた言葉ですが、ようやく最近になってこの言葉の意味の大切さ、重さを感じさせられるようになりました。3つのうち、どれが欠けても(心身とも健全でなくては、いかに技術があろうとも、主客の心を一つに結び心とむときを過ごし)おいしいお茶をたてることができないことに気がきました。

カタカナのはんらんしている昨今、もう一度初心に帰って世界に誇れる日本の伝統文化を見つめ直し、茶の湯に精進しなければと感じるようになりました。皆さま方も1日に一度は、座して心静かに一服のお茶を喫し心を癒やしてください。

一口メモ(流派によって異なることあり)

野点…野外にて茶を点て喫すること

春や秋、季節の良いころ、自然をめでながら楽しむお茶で、茶箱、茶籠など道具一式を仕組みを用いて瓶掛などで行われる。茶会の場合も、場所や趣向を凝らすところに面白さがある。立礼の点前が多く行われる。



詳しくは、商工観光課へどうぞ。

また、駅名に「市」のつく駅をJRに問い合わせたところ、「土岐市」のほか「山梨市」「伊勢市」「熊野市」「伊那市」などがあるそうです。全国的にも珍しいようです。

そして、昭和四十年に国民体育大会が岐阜県で開催され、土岐市においてウエイトリフティング、軟式野球が会場になるということで、駅前広場の拡張と駅舎の改築が計画され、この機会に駅名を「土岐市駅」と改称するよう、昭和三十九年十月の市議会で議決されました。以来、国鉄当局に陳情を続け、翌年正式に「土岐市駅」に改名されました。



ストップ!

地球温暖化

温室効果ガスとは?

大気中の二酸化炭素やメタンなどのガスは、太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがあります。これらのガスは、ちょうどビニール温室のビニールの役割を果たすので、温室効果ガスといわれています。

温室効果ガスにより地球全体の平均気温は、約15に保たれていますが、近年、その温室効果ガスが増え過ぎることによって、地球の温暖化を引き起こしていることが問題となっています。

家庭でできる取り組み

電気ポットや炊飯ジャーの保温を止める



CO₂削減効果 約31kg/世帯・年

年間節約効果 約2,000円/世帯・年

※ポットやジャーの保温は、利用時間が長いと、多くの電気を消費します。ご飯は、電子レンジで温め直すほうが傷みも少なく、電気の消費も少なくなり、お湯も魔法瓶で保温し、冷めたら使うときに沸かし直したほうが省エネになります。

詳しくは、環境課(内線254)へどうぞ。

よくある質問Q&A



Q JRの駅名が「土岐」ではなくて「土岐市」となっている由来は?

A 昭和四十年七月一日に「土岐津駅」から「土岐市駅」に改名されましたが、そもそも「土岐津駅」は、国鉄中央線の計画段階では、現在の市役所庁舎付近に予定されていたことや、その当時、土岐津がこの辺りで一番栄えていたことなどから駅の名前になりました。

その後、陶磁器産業の発展、ウラン鉱の発見などにより「土岐市」の名が広く知られるようになり、市民も、昭和三十年の八力町村合併以降「土岐市」という地名に慣れ親しみ、市内唯一の国鉄の駅として「土岐津駅」では市民、旅客を戸惑わせることになり、「土岐市駅」への改名は、市の急務となりました。

